

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年7月8日（月）

2 確認箇所

- ・増設多核種除去設備
- ・J4タンクエリア

3 確認項目

- (1) 増設多核種除去設備で発生した水漏れの対応状況
- (2) J4タンクエリアの多核種除去設備処理水移送配管脱落の対応状況

4 確認結果の概要

- (1) 増設多核種除去設備で発生した水漏れの対応状況について
7月6日の午前0時頃に増設多核種除去設備のクロスフローフィルタ（C）スキッド1で水漏れ（漏えい水の全 β 放射能： 8.0×10^4 Bq/L）が発生したことから、その状況の確認を行った。
 - ・現場確認時、増設多核種除去設備のクロスフローフィルタ（C）スキッド1では水漏れの箇所の特定作業及び水漏れの原因調査が行われていた。（写真1）
 - ・漏えい水は拭き取りが終了していた。（写真2）
 - ・クロスフローフィルタ（C）スキッド1内の床面には漏えい検知器が設置されていた。（写真2）
- (2) J4タンクエリアの多核種除去設備処理水移送配管脱落の対応状況について
7月5日にJ4タンクエリアの東側と南側で多核種除去設備処理水移送配管が配管サポートから脱落していることが確認されたため、その状況確認を行った。
 - ・J4タンクエリアの外堰内で、当該配管が配管サポートから脱落していることを確認した。（写真3）
 - ・脱落した配管には「移送配管サポート現在対応中（2019.7.5）」と記載されたラベルが貼られていた。（写真4）



(写真1)
作業の様子



(写真2)



(写真3)
脱落した配管は、堰内に溜められた
水で浮いている状態



(写真4)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。